



特集 1

# 熱戦再び! ラリージャパンを楽しもう!

ラリージャパンの開催は11月16日(木)～19日(日)

昨年に続き、FIA世界ラリー選手権(略称:WRC)「フォーラムエイト・ラリージャパン2023」が豊田市などを舞台に開催されます。今年は、本市が自治体で初めて競技主催者になります。世界トップレベルの選手たちによるスピードや技術を、是非見て楽しんでください。熱狂や感動を、国内外から集まるファンとともに分かち合いましょう。

詳細はこちら▼



大会公式ホームページ

●問合せ ラリーまちづくり推進課(☎34・6950、FAX34・6681、✉rally@city.toyota.aichi.jp)



昨年開催されたラリージャパン  
 一般の公道を、ラリーカーが駆け抜けた  
 その迫力を多くの観客が体感し、楽しんだ  
 さあ、今年もラリージャパンがやってくる



## ラリージャパンの主催者として

「フォーラムエイト・ラリージャパン2023」を主催することで、本市における「山村振興」「交通安全の推進」「産業の振興」を期待しています。また、本市の美しい山里の風景などを国内外に発信する機会にもなります。

主催者として、ファンや選手だけでなく多くの人を楽しめるとともに、環境に配慮した未来へつながる持続可能な大会の運営を目指します。

# ラリージャパンを観戦しよう！

豊田スタジアムで、エンジン音を響かせながら同時に走行する2台がタイムを競う姿。山村地域の公道で、紅葉が鮮やかな山々の中を駆け抜ける姿。世界のトップドライバーの活躍を、間近で見ませんか。



イメージ

**New!**

## 豊田スタジアムで 競技が開催されます！

昨年は、セレモニアルスタート（大会オープニングイベント）会場や、サービスパーク（車両整備の場）として活用された豊田スタジアム。今年は競技会場にもなり、特設コースが設置されます。そのコースを「**スーパースペシャルステージ（スーパーSS）**」といいます。スーパーSSでは、公道を1台ずつ走行する通常の競技と違って、2台が同時に走行してタイムを競います。世界でも例が少ないスタジアムでのラリー競技が、本市で見られます！

### 観戦チケット

昨年、わずか数日で完売となった観戦チケット。より多くの市民の皆さんに見てもらおうと、今年は昨年よりもチケット販売数を増やしています。また、一般販売に先駆けて、住民先行販売（抽選）を実施します。

詳細は

**6月28日（水）正午に公開**



大会公式ホームページ



### コラム

#### ラリーに詳しくなろう！

##### ◆ ラリーは、モータースポーツのひとつ

モータースポーツは、四輪自動車やオートバイなどを使用して、スピードや運転技術を競うものです。

そして、四輪自動車におけるモータースポーツに、「レース」「ラリー」などの種類があります。

レースとは、F1に代表されるように、専用のサーキットで、2台以上の自動車が同時にスタートし、ゴールするまでのタイムを競うものです（スプリントレ

ース）。また、所定時間内に走る距離を競うものもあります（耐久レース）。

ラリーは、市街地の公道や山道など、様々な舗装路、未舗装路をコースとして、ラリーカーが1台ずつ走り、ゴールまでのタイムを競うものです。ドライバーは、コ・ドライバー（ドライバーと共に車両に乗り、道路の状況を伝える案内役）の指示に従い走行します。つまり、ドライバーの運転技術の高さや、コ・ドライバーの指示の正確性が、勝敗の鍵を握ります。

## ボランティアとして ラリージャパンに参加しませんか

国内外からファンが集まる世界大会。大会の運営を円滑に進めるため、ボランティアを募集します。熱狂と感動で包まれる大会を、ファンや選手、そしてボランティアの皆さんでつくり上げませんか。



名称	オフィシャル競技ボランティア	豊田市観戦エリアボランティア
対象	活動日時点で18歳以上(高校生不可)	活動日時点で18歳以上(高校生不可)
活動日	11月12日(日)～19日(日)のうち希望日 ※時間は活動場所により異なる。事前研修会有り	11月16日(木)～19日(日)のうち希望日 ※時間は活動場所により異なる
活動場所	県内、岐阜県内の各競技コース	市内の観戦エリア <sup>など</sup>
活動内容	主に競技コースの接続道路封鎖	受付、観客誘導、旗配り <sup>など</sup>
定員	抽選700人程度	抽選380人程度
申込み	7月1日(土)～8月10日(木)に フォーラムエイト・ラリージャパン2023大会公式ホームページ	
問合せ	WR C 2023 オフィシャル競技ボランティアセンター／豊田市観戦エリアボランティアセンター (☎50・2225、✉spovol.toyota@fielder2006.com) ※土・日曜日、祝日を除く午前9時～午後5時	



### ◆ WRCは世界最高峰のラリー競技大会

**世界** ▲ WRC ラリー競技大会の世界最高峰であるWRCは、年間を通して世界各地で大会が開催され、大会ごとのポイントの通算で順位が決まります。モナコ大会から始まった今大会の最終戦が第13戦の日本大会「フォーラムエイト・ラリージャパン2023」です。

**日本** ▲ JRC 国内ではJAF全日本ラリー選手権(JRC)が日本最高峰の大会です。その他にも各地で大会が行われています。本市では、「フォーラムエイト・ラリージャパン」の他に「豊田しもやまラリー」や「COME ON! INABU シロキヤラリー」、「TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ」が開催されます。

### 「豊田しもやまラリー」レポート



5月21日、下山地区で開催されました。昨年に続き2回目となる今大会では、ラリーカー36台が走行タイムを競いました。観客は、目の前を走るラリーカーに旗を振って声援を送っていました。

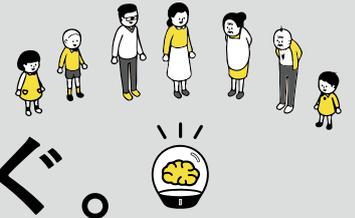


映像はこちら

特集 2

ー とよたデカスプロジェクト10周年 ー

## アートで、 地域と人をつなぐ。



●問合せ 文化振興課(☎34・6631、FAX34・6766、✉bunshin@city.toyota.aichi.jp)

私たちの周りにある自然や歴史、町並み、そこに暮らす人々の営み。少し見方を変えるだけで、それらが自分にとってかけがえのない「宝」であることに気づくことがあります。アートによってその「気づき」を掘り起こし、地域と人をつなげる取組「とよたデカスプロジェクト」が今年で10年の節目を迎えます。これまでに、各地でアートと地域資源が融合した作品が生まれてきました。そしてそこには様々な人の関わりがありました。その取組を紹介します。

### とよたデカスプロジェクト

平成25年に始まった「とよたデカスプロジェクト」。デカス(=出来ず)は「つくり出す、成しとげる」という意味で、やる気と達成感を想起させる造語です。アートを広くとらえ、地域資源やその地域の人々を巻き込みながら、その地ならではの



2021

はのものをつくり上げます。美術、映像、音楽、舞台芸術、食文化などジャンルは様々。「宝」である市内の地域資源を参加者と共有し、その魅力を市内外に発信するアート企画を応援する取組です。

写真は過去の参加作品の例

気になる作品の詳細はこちらから▶



公式ホームページ



2016



2018



2020



2019

## 「足助ゴエンナーレ」企画者に聞きました



アートプロデューサー  
オオノユキコさん

市外に住む私は、足助の町並みにとても魅力を感じ、アートを通じてその魅力を発信したいと思い、「足助ゴエンナーレ」を立ち上げました。また、会場の寿<sup>すずや</sup>家で作品を展示するだけでなく、地域の皆さんにも様々な形で参加してもらうことで自分たちの日常生活の中に魅力があると改めて感じてもらいたいと思い、一緒に企画を進めました。

地域の皆さんが、アート作品を完成させ来場者に披露したり、ワークショップを開催して来場者を楽しませたり。企画を続ける中で、積極的に地域資源を生かそうとする地域の皆さんのアイデアが私の想像を超えるほど広がっていき、活動していてよかったと感じました。また、地元の和菓子屋さんや酒屋さんとのコラボによって、オリジナルのお菓子やラベル瓶が生まれるなど、アートを通じて地域と人がつながり「ご縁」が広がっていったと実感できました。



## 足助ゴエンナーレ

2014 - 2016、2018年 | 足助ゴエンナーレ実行委員会

足助にある旧料亭の「寿<sup>すずや</sup>家」をメイン会場とし、現代アートの作品展示やパフォーマンスなどの様々な取組が行われました。足助には、昔から受け継がれる職人の技術や豊かな自然などの「宝」があります。若手アーティストたちと地域の人々の「ご縁」から「宝」を生かしたアイデアが丁寧に形になっていき、足助の魅力が地域から発信されるようになりました。人の気持ちを動かすアートの力と、地域資源がもつ力の相乗効果が生まれた一例です。



## とよたデカスプロジェクト 2023

実施期間：8月1日(火)～11月30日(木)

概要：8つの企画を展開。小原地区の古民家を舞台に地域の人々も交えた演劇が行われたり、稲武地区でダンスや食事が楽しめるクラブが開かれたり。今年はどんなデカしたアートが生まれるのか。是非、皆さんも体験し、楽しんでください。各企画の開催期間や申込み方法などは、とよたデカスプロジェクトホームページを確認

### DECADE of DECASU ※入場無料、申込不要 ～とよたデカスプロジェクト10周年記念祭～

これまでの取組を振り返り、今後の「デカス」について考えるシンポジウムを開催します。

日時：7月15日(土)午後1時～5時

会場：崇化館交流館

内容：会場参加型〇×クイズ「デカした検定」、みんなでディスカッション、ワークショップ(アート体験)、パフォーマンス披露<sup>など</sup>

